



訓練紹介  
ページは  
こちらから



# 電気設備エンジニア科

Electrical Equipment Engineering Department

## 入所月

標準コース 令和6年5月、8月、11月

導入講習付きコース 令和6年10月

訓練募集スケジュールの詳細については、P6をご覧ください。  
「導入講習付きコース」の詳細については、P10をご覧ください。

## 費用の目安

テキスト代等 <b>5,000円程度</b>	作業服代 <b>10,000円程度</b>
---------------------------	--------------------------

## 受験可能な資格

- 第一種電気工事士
- 第二種電気工事士
- 消防設備士第四類
- 工事担任者DD二種

※入所月により在所中の受験可能な資格は異なります。試験の日程(申込締切日・受験日など)は試験実施機関のHPをご確認下さい。

## 就職先のイメージ

- 建設業(電気工事、電気通信工事、空調設備工事、消防設備工事)
- 電気業(引込工事、電力計交換)
- 製造業(配電・制御盤製造、電気設備保全)
- 建物サービス業(ビル管理)



## 担当指導員からのメッセージ



電気設備エンジニア科は、令和5年8月から始まった新しいコースです。電気設備は、電力設備と通信設備に大きく区分されており、電力設備を強電(きょうでん)、通信設備を弱電(じやくでん)とも呼びます。強電と弱電では施工に必要な資格は異なりますが、多くの技術的な共通事項があります。電気設備エンジニア科では、強電と弱電の両方を効率よく習得します。電気は独学が難しく、一筋縄ではいかない分野ですが、訓練では、ゆっくり初歩から始めます。電気を勉強した事のない方やものづくりの経験のない方も安心して受講いただけます。また、実習が多いカリキュラムですので、楽しく知識と技術を習得できます！

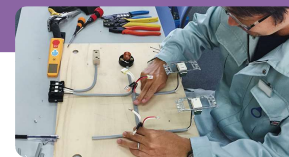
## 訓練内容

電力設備・通信設備の施工や大型機械を自動制御するための技術を習得し、建設業や製造業などの電気に係る設計・施工(製造)・メンテナンス職種への就職をめざします。

### 低圧設備工事 基礎

期間 ▶ 4週間

照明やコンセントなど、低圧電気設備に係る設計・施工・メンテナンスを行うための基礎技術を習得します。



### 低圧設備工事 実践

期間 ▶ 4週間

木造住宅やRC造・S造など、建物に応じた低圧電気設備に係る施工を行うための実践技術を習得します。



### 高圧設備工事

期間 ▶ 4週間

キュービクル(高圧受電設備)など、高圧電気設備に係る設計・施工・メンテナンスを行うための技術を習得します。



### 自動制御

期間 ▶ 6週間

大型機械の自動制御盤など、有接点シーケンス制御及びPLC(Programmable Logic Controller)制御に係る設計・組立配線・検査を行うための技術を習得します。



### 消防設備工事

期間 ▶ 4週間

商用施設の防災設備など、自動火災報知設備に係る設計・施工・メンテナンスを行うための技術を習得します。



### 通信設備工事

期間 ▶ 2週間

光回線やLANなど、通信設備に係る設計・施工・メンテナンスを行うための技術を習得します。



ものづくり  
溶接加工科

機械・CAD  
オペレーション科

電気設備  
エンジニア科

ICT  
システム科

ビル管理技術科